

未来生活 now プロジェクト 2015 年度 SEED PLAN 評価

長期目標

- 1) 日本の青年と力を合わせて、世界の課題先進国・原子力災害被災国である日本の地域社会を、「生命を大事にする責任ある地域自給社会」へと転換します。
- 2) 東京の青年とグリーンな企業と NGO が力を合わせて、有機農業をはじめとする環境保全型農業、地域に根差した再生可能エネルギー、有機的な人のつながりから生まれる健康で安心な地域づくりの実践を進め、東京における「生命を大事にする責任ある自給社会づくり」を一般化します。
- 3) 上記の提言と実践を通して、国際社会が「持続可能地域目標 (Sustainable Community Goals)」を定め、過剰な農薬・化学肥料・化石燃料・紛争鉱物・原子力発電・遺伝子組み換え等のリスク規制を強化する仕組みを創造します。

短期目標

目標	1) 青森、福島、およびその他の地域への現場ツアー等を通し、地域の青年と交流し、持続可能な地域の在り方についての提言ネットワークを構築します。
達成度	60%
結果と成果	・ 30 団体ほどの政策提言型 NGO(青年団体含む)、30 団体ほどの福島県内の復興団体、10 名ほどの福島県の有機農業者、10 団体ほどの首都圏の復興支援団体とのネットワークを築くに至りました。 ・ 4/12 にシンポジウム「What's Next?」を開催し、環境市民、FoE Japan 等を招聘して食・お金・エネルギーの問題と提言内容を共有しました。結果、持続可能な消費ネットへの加入やパワーシフトキャンペーンへの参画等、提言 NGO とのネットワーク形成の布石となりました。 ・ 11/23~11/24 で福島現場ツアーを実施しました。小高の仮設住宅、二本松市東和地区の仮設焼却炉、福島県内の NPO に所属する ASJ 卒業生を訪ねました。結果、福島県内外の放射性廃棄物問題への問題意識を掘り下げることに繋がり、2016 年度に実施するアクションにつながりました。仮設焼却炉問題を追及し情報提供を行う「ふくしま連絡会」とのつながりもできました。 ・ 6/11開催の「復興の集いー結イレブンvol.18」では、みんなのデータサイト事務局長／石丸偉丈氏、土壌スクリーニング・プロジェクト／平井有太氏、アースデイマーケット事務局長／富山普氏をゲストに迎え、放射能と食の問題について福島と東京でどのように克服しようとしているのか、実際の活動から語っていただきました。 ・ 10/11開催の「復興の集いー結イレブンvol.22 (福島県有機農業ネットワークと共催)」では、たなつもの屋／廣田拓也氏、CSOネットワーク／黒田かをり氏、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン／佐々木未央氏、ふんばろう福島プロジェクト／矢内寿氏をゲストに招き、「農業・避難・子供・支援」の現状と課題を語っていただきました。 ・ 2/22開催の「ほんとの幸を考える！今だからこそ交流会 2 (福島県有機農業ネットワークと共催)」では、関係者を入れて50名ほどが参加し、「生命を大事にする責任ある地域自給社会」の構築に向けて、ネットワークを継続・拡大しました。 ・ 「3/22 再エネ×パリ協定 なじよすっぺふくしまシンポジウム」を気候ネット等と共催しました。関係者を入れて参加 40 名。エネルギー問題に関して提言 NGO、福島県内の再エネ団体と福島県の再エネ 100%自給、脱原発・脱化石について問題意識を共有できました。 ・ 「結イレブン」で有機農家の野菜を試食・販売や現地ツアーの紹介をすることを通して、のべ約 70 名の方に、東京で有機野菜の定期購入や現場体験を促しました。
目標	2) 「東京における生命を大事にする地域自給社会」の仕組みを構築することを目指します。その第一歩として「コンビニエンスストア提言アクション」を始動します。
達成度	10%
結果と成果	・ 新宿NPO協働推進センターまつりの分科会で、コンビニとCSRをテーマを担当しました。 ・ 東京におけるアクションは、コンビニエンスストアへの働きかけを行うために11月まで勉強会やミーティングを重ねてきましたが、実施体制が作れなかったため、見直すこととなりました。

年間活動

結果	4/12	シンポジウム「What's Next?」を開催
	4/18-4/19	アースデイ東京 2015 出展
	5/25	新宿 NPO 協働推進センターまつりに出展
	6/11	結イレブン共催（テーマ：「福島・未来を切り拓く」。ゲスト：みんなのデータサイト事務局長の石丸偉丈氏、土壌スクリーニング・プロジェクト平井有太氏）
	8/8	チーム内でコンビニに関する勉強会実施
	10/11	結イレブン共催（テーマ：ほんとの幸を考える！今だからこそ大交流会）
	11/23-11/24	福島現場ツアーを実施
	2/22	「ほんとの幸を考える！今だからこそ交流会 2」を福島県有機農業ネットワーク等と共催
	3/22	「再エネ×パリ協定 なじょすっぺふくしまシンポジウム ～ふくしま発・再生可能エネルギーで描く持続可能な未来～」を気候ネットワーク等と共催

総括

2015 年度は「生命を大事にする責任ある地域自給社会への転換」を目的に掲げる未来生活 now プロジェクトの 5 か年計画の最終年でした。東日本大震災の発災以降、福島県の有機農業者と共に原子力災害からの復興に向き合い、都市と地域の連帯を促進する活動が続けた結果として、様々な団体とネットワークを築くに至りました。活動の手法としては、新たなキャンペーン案としてコンビニ企業に提言をする活動を模索しましたが、実施体制の面から断念しました。そして、新チームとして核燃料サイクルや放射能のゴミにもフォーカスした、青森・福島と連帯する活動へとシフトする決定に至りました。

本プロジェクトは 2015 年度で解散しますが、有志で 2014 年 1 月から継続している復興の集い「結イレブン」を新チームに引継ぎます。「結イレブン」を公式の活動として継続・拡大し、2020 年のオリンピック・パラリンピックの機会も視野に、「生命を大事にする責任ある地域自給社会への転換」を実現する手法や、都市と地域における有機農業、再生可能エネルギーの推進、放射能の問題、といったテーマについても引き続き扱う予定です。